

平成27年度 宮城県バレーボール協会公認審判員資格認定審査会  
筆記試験問題

平成27年10月18日（日）実施

**【注意】 解答用紙はすべて指定された解答欄に記入してください。**

問1 次の文章は、平成27年度6人制競技規則のうち「第1編 試合」の中の「第1章 施設と用具」について述べております。文章の中にある No. ( ) に当てはまる語句を（A. B. C）の中から選んで、いずれかを記入してください。

競技エリアは、コートとフリーゾーンを含む。長方形で左右対称でなければならない。

コートは 1 ( A. 16m×8m B. 18m×9m C. 21m×10.5m ) の長方形で、最小限 2 ( A. 1m B. 3m C. 5m ) の幅のフリーゾーンで囲まれている。フリープレー空間は、障害物が何もない競技エリアの上方の空間で、競技をする表面から、最小限 3 ( A. 3m B. 5m C. 7m ) の高さがなければならない。

FIVB世界・公式大会では、フリーゾーンの幅はサイドラインから最小限 4 ( A. 3m B. 4m C. 5m )、エンドラインから最小限 5 ( A. 5m B. 6.5m C. 10m ) なければならない。フリープレー空間は競技エリアの表面から最小限 6 ( A. 10m B. 12.5m C. 15m ) の高さが必要である。

すべてのラインは幅 7 ( A. 5cm B. 6cm C. 7cm ) である。それらは明るい色で、フロアおよび他のラインと異なる色でなければならない。

コートは2本のサイドラインと2本のエンドラインにより区画される。2本のサイドライン、エンドラインとも、コートの 8 ( A. 外側 B. 中央 C. 内側 ) に引かれる。

コートは、センターラインの幅の中心により、9×9mのコートに2等分され、センターラインは両コートに等しく属する。ラインは、ネットの真下に、サイドラインからサイドラインまで引かれる。

アタックラインは、それぞれのコートに、そのライン幅の後端がセンターラインの幅の中心から 9 ( A. 1m B. 2m C. 3m ) となるように引かれる。アタックラインによりフロントゾーンが区画される。

FIVB世界・公式大会では、アタックラインはサイドラインから外側に、長さ 10 ( A. 10cm B. 15cm C. 20cm )、幅5cmの短いラインを 11 ( A. 10cm B. 15cm C. 20cm ) 間隔で、全長 12 ( A. 1.50m B. 1.75m C. 2.00m ) となる破線を引き、延長される。

サービスゾーンは、それぞれのエンドラインの後方に位置する9mの幅を持つゾーンである。サイドラインの延長線上に、エンドラインの後方 13 ( A. 15cm B. 20cm C. 25cm ) に、14 ( A. 15cm B. 20cm C. 25cm ) の長さで引く2本の短いラインにより両端を区画する。両方の短いラインは、サービスゾーンの幅に含まれる。

F I V B世界・公式大会では、ウォームアップエリアがそれぞれのベンチ側フリーゾーンの外側のコーナーに、約15 ( A. 1 m×1 m B. 2 m×2 m C. 3 m×3 m ) の広さで設けられる。

ペナルティエリアは、それぞれのエンドライン延長線上の外側でコントロールエリア内に約16 ( A. 1 m×1 m B. 2 m×2 m C. 3 m×3 m ) の広さで、17 ( A. 1脚 B. 2脚 C. 3脚 ) の椅子を用意し設けられる。ペナルティエリアは5 cm幅の赤いラインで区画される。

最低気温は、18 ( A. 10°C B. 15°C C. 20°C ) ( 5 0°F ) を下回ってはならない。

F I V B世界・公式大会では、最高気温は19 ( A. 25°C B. 28°C C. 30°C ) ( 7 7°F ) を上回ってはならない。また、最低気温は20 ( A. 16°C B. 18°C C. 20°C ) ( 6 1°F ) を下回ってはならない。

ネットはセンターラインの上に垂直に設置し、上端の高さは男子21 ( A. 2.30m B. 2.38m C. 2.43m )、女子22 ( A. 2.10m B. 2.15m C. 2.24m ) である。

ネットの高さは、コートで中央部で測定する。両サイドライン上のネットの高さは、完全に同じ高さで、規定の高さから23 ( A. 2 cm B. 3 cm C. 5 cm ) を超えてはならない。

アンテナは長さ24 ( A. 1.8m B. 1.9m C. 2.0m )、直径25 ( A. 5 mm B. 10mm C. 15mm ) の弾性のある棒で、ファイバーグラスまたは類似の素材で作られている。

アンテナは、両サイドバンドの外側にしっかりと取り付けられる。2本のアンテナは、それぞれネットの反対のネット面に設置される。

アンテナの上部26 ( A. 80cm B. 90cm C. 100cm ) はネットの上方に伸び、この部分には対象的な色で、できれば赤と白で27 ( A. 10cm B. 15cm C. 20cm ) ごとのストライプを付ける。

ボールは球状で、ゴムまたはその類似材質の内袋を持つ、柔らかい皮革あるいは合成皮革で作られたものでなければならない。

※ ボールの規格

円 周 : 28 ( A. 60~62cm B. 62~65cm C. 65~67cm )

重 さ : 29 ( A. 240~260 g B. 260~280 g C. 280~300 g )

内気圧 : 30 ( A. 0.30~0.315kg/cm<sup>2</sup> B. 0.30~0.320 kg/cm<sup>2</sup> C. 0.30~0.325 kg/cm<sup>2</sup> )

問2 平成27年度6人制競技規則「第1編 試合」の中の「第4章 プレーの動作」及び「第6章 リベロ」に関して、次の文章の中の、          部分について、正しいものには○、誤っているものには×を記入してください。

- (1) ボールは、主審に許可されたサービスのホイッスルをした時点で、インプレーとなる。
- (2) ボールは、身体のどの部分で触れてもよい。
- (3) 相手チームのプレーを妨害しない限り、選手は支柱、ロープ、またはアンテナの外側にあるネットや他の物体に触れてもよい。
- (4) サービスとは、フロントライトの選手がサービスゾーンに位置し、ボールをインプレーの状態にする行為である。
- (5) サーバーは、主審がサービスのホイッスルをした後、6秒以内にボールをヒットしなくてはならない。
- (6) ブロッカーは、相手チームがアタックヒットを行うまでは、ネットを越えてボールに接触することは許されない。
- (7) 相手チームのサービスをブロックすることは許されない。
- (8) バックプレーヤーは、バックゾーン（フロントゾーンの後方）からであれば、どの高さでもアタックヒットを完了することができる。
- (9) 各チームは、記録用紙の選手リストの中から守備専門の選手であるリベロを2人指名しなければならない。
- (10) リベロは、ネット上端より高い位置にあるボールを、バックゾーン（フロントゾーンの後方）からであればアタックヒットを完了することができる。

問3 次の文章は、平成27年度6人制競技規則「第2編 審判員とその責務および公式ハンドシグナル」の中の「主審および副審の責務」に関するものです。主審の責務であれば「A」を、副審の責務であれば「B」を、両方の責務であれば「AB」を記入してください。

- (1) 相手コートに向かうボールの全体またはその一部が副審側の許容空間外側を通過したとき、あるいは副審側のアンテナにボールが触れたとき。
- (2) ネットの上方の反則と、主としてアタッカー側のタッチネットの反則。
- (3) ボールがフロアに触れて、主審がその接触を確認できないとき。
- (4) ボールをプレーするときの反則。
- (5) 主としてブロッカー側のタッチネットの反則と、選手が副審側のアンテナに触れたとき。
- (6) サーバーおよびスクリーンを含むサービングチームのポジションの反則。
- (7) レシービングチームのポジションの反則のとき。
- (8) 自チームのフロントゾーン内にいるリベロが指を使ったオーバーハンドでパスを上げたボールを、他の選手がネット上端より高い位置でアタックヒットを完了したときの反則。
- (9) 相手コートおよびネット下方の空間へ侵入したとき。
- (10) バックプレーヤーがブロックの完了をしたとき、またはリベロがブロックの試みをしたとき。

問4 次の文章は平成27年度9人制の競技規則について述べたものです。\_\_\_\_\_の部分について、正しいものには○、誤っているものには×を書いてください。

- (1) 主審は、試合前の準備として、両チームのチームキャプテンを呼び、トスをして、トスに勝ったチームキャプテンに「サービスを打つか、サービスをレシーブする権利」または「どちらのコートに入るか」のいずれかを選択させた。
- (2) 両チームの先発選手は、試合（セット）開始前、サービス順にコート中央に整列する。
- (3) 第2（第3）セットは、前セットの最後のサーバーの、相手チームの次の順にある選手のサービスで開始する。
- (4) 最終（第3）セットでは、いずれかのチームが13点を先取したときにコートを交替し、直ちに試合を再開する。
- (5) セット間の中断の時間は、2分間とする。この間、選手はコートから離れ、チームベンチ近くにいないといけない。ただし、他の試合の妨げとならない限り、エンドライン後方のフリーゾーンで、ボールを使用してウォームアップをすることができる。
- (6) 選手交代は、1セットに4回、3人を限度として同じ中断中に、複数回を、または連続して要求することができる。
- (7) サービスは、主審のサービス許可の吹笛後、8秒以内に行わなければならない。サービスは、一度失敗しても、もう一度だけ行うことができる。
- (8) 同一チームの2人以上の選手が同時にボールに触れたときは、そのチームのボールへの接触回数は2回とみなす。
- (9) 選手がプレーしたボールがネットにかかった場合でも、同一選手が続けて3回プレーしたときは、ドリブルの反則となる。
- (10) 両チームの選手が同時に反則をしたときは、ダブルファウルであり、不法な行為による場合を除き、ノーカウントとする。試合は同じサーバーの第1サービスで再開する。

問5 次の設問については、9人制競技規則による選手交代の要領例です。正規の選手交代で正しいものには○を、できない選手交代には×を記入してください。（ただし、①～⑨：先発競技者、⑩～⑫：交代競技者とし、そのうち①～⑨は併せてサービス順を示します。また、同じセットでの選手交代とします。）

- (1) (⑧ → ⑩ → ⑧, ⑨ → ⑪ → ⑫)
- (2) (⑧ → ⑩ → ⑧, ⑨ → ⑪ → ⑨)
- (3) (⑦ → ⑩, ⑧ → ⑪, ⑨ → ⑫, ⑥ → ⑦)
- (4) (⑧ → ⑩ → ⑪ → ⑧ → ⑫)
- (5) (⑧ → ⑩ → ⑧ → ⑪, ⑨ → ⑫)
- (6) (⑧ → ⑩ → ⑪ → ⑫ → ⑧)
- (7) (⑧ → ⑩ → ⑪ → ⑧, ⑨ → ⑫)
- (8) (⑦ → ⑩ → ⑫ → ⑦, ⑧ → ⑫)
- (9) (⑧ → ⑩ → ⑧ → ⑪ → ⑫)
- (10) (⑦ → ⑩ → ⑦, ⑧ → ⑪, ⑨ → ⑫)



平成27年度 宮城県バレーボール協会公認審判員資格認定審査会  
6人制筆記試験解答用紙

所属		氏名	模範解答
----	--	----	------

問1 〈各2点×30〉

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
B	B	C	C	B	B	A	C	C	B
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
C	B	B	A	C	A	B	A	A	A
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
C	C	A	A	B	A	A	C	B	C

問2 〈各1点×10〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	○	○	×	×	○	○	○	×	×

問3 〈各1点×10〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
B	A	B	A	B	A	B	A	B	AB

問4 〈各1点×10〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	×	○	×	×	○	○	×	○	○

問5 〈各1点×10〉

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
○	○	×	○	○	○	○	×	○	○